

神楽坂だより

編集・発行
おいしい通信
162-0813 東京都
新宿区東五軒町5-8-1802
atsushih@nifty.com
090-7217-3564
東村 篤
(PN 紙小路篤鷹)

小紙創刊40周年お礼

平素は拙い内容の小紙「神楽坂だより おいしい通信」をご愛読を賜り、有難く御礼申し上げます。

9月号を以って創刊40周年を案内させていただきましたところ親戚をはじめ全国各地で活躍の知人、友人の皆さまからたくさんのお電話、おはがき、お手紙、PCメール、SNS媒体などで心温まるお礼のお言葉、励ましなどをいただき感謝、感激の一カ月間でした。ありがとうございました。
今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年10月 寒露 東村篤 (紙小路篤鷹)

編集発行お詫び

10月22日付で10月号の編集発行を進めて参りましたが、10月8日、小紙を編集
中、突然、保存の際、「ワークファイル
エラー」と画面表示され以後、書き込み
が不能となりました。

使用しております編集ソフト「編集長」
の発売元ソースネクスト(株)カスタマーセ
ンターへ照会、メンテナンスサービス
期間満了のバージョンであることが判明、
ソフトを最新のバージョンにアップ更新、
それでも解決に至らず、編集を断念、使
用するPC環境を変更、「保存ファイル」
をも変更いたしました関係で、10月号は、
1面のみとさせていただきます。(東村)

近鉄が伊勢神宮初詣でに名阪特急「ひのとり」 を臨時3往復伊勢へ運行

近畿日本鉄道(株)は、大晦日から元旦にかけては、一部の線区を除き終夜運転を実施するほか、臨時特急列車「ひのとり」を大阪難波・近鉄名古屋～五十鈴川間で各3往復運転します。

12月28日(土)～1月5日(日)までは土休日ダイヤで運転。12月31日(火)～1月5日(日)までの特急券は12月1日(日)の10時30分から発売されます。

1. 大みそかから元旦にかけて「ひのとり」で運転する臨時特急列車の時刻(主要駅)

大阪→伊勢方面

大阪難波発	大阪上本町発	鶴橋発	大和八木発	伊勢市着	宇治山田着	五十鈴川着
0:00	0:03	0:06	0:36	1:48	1:51	1:54
1:00	1:03	1:06	1:34	2:47	2:50	2:53
2:00	2:03	2:06	2:33	3:44	3:47	3:51

伊勢→大阪方面

五十鈴川発	宇治山田発	伊勢市発	大和八木着	鶴橋着	大阪上本町着	大阪難波着
2:35	2:38	2:40	3:54	4:20	4:22	4:26
3:35	3:38	3:40	4:50	5:16	5:19	—
4:08	4:11	4:13	5:17	5:54	5:56	6:01

※列車によって停車駅は異なり、記載の駅のほか、大和高田・桜井・榛原・名張・伊賀神戸・榛原温泉口・伊勢中川・松阪に停車する列車があります。

名古屋→伊勢方面

近鉄名古屋発	近鉄四日市発	津発	伊勢市着	宇治山田着	五十鈴川着
0:00	0:28	0:49	1:20	1:23	1:27
1:00	1:28	1:49	2:20	2:23	2:27
2:00	2:28	2:49	3:20	3:23	3:27

伊勢→名古屋方面

五十鈴川発	宇治山田発	伊勢市発	津着	近鉄四日市着	近鉄名古屋着
2:04	2:07	2:10	2:42	3:03	3:31
3:04	3:07	3:10	3:42	4:03	4:31
4:04	4:07	4:09	4:41	5:03	5:32

※記載の駅のほか桑名・白子・久居・伊勢中川・松阪にも停車します。

論文「伊勢商人から広報の原 風景を探る」を執筆中

アナログでしかない社会において広報とはどうあるべきか、江戸時代の代表的伊勢商人を取材調査して広報の原点なるものを探ってみました。

中でも、社是の精神は店員・社員間で共有、社風として醸成・昇華、今日のインタナールコミュニケーションの原点と言えよう。

事例として取り上げた國分家、竹口家、長谷川家、三井家、小津家においても同様に「帳目・家訓」の徹底・継承に広報の原点が

見られることは大いに注目できる点です。
生活の中での仏教用語で「三次元の世界にあるものは、地上のものにはすべて誕生の時があり、発育、成長の時があり、不調、衰退の時があり、解体、消滅の時という4つの過程を必ず経る「生々流転の法則」があり生命あるものには内包しています。釈迦の「諸行無常」に通ずるものです。
今日の広報との違いは「品格」を重んじての経営姿勢、倫理が見られます。
特に戦後の米国を中心とした唯物的思想は、もはや限界に近い。次代は、唯心的思想とのバランスが必要であろう。

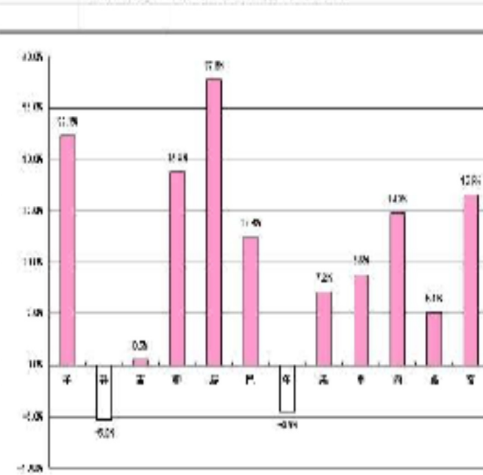
神楽坂だより

編集・発行
おいしい通信
162-0813 東京都
新宿区東五軒町5-8-1802
atsushih@nifty.com
090-7217-3564
東村 篤

東京証券取引所が1989年6月に開かれてからの上場銘柄平均騰落率・買付数
<本年の途中経過を含む>

銘柄	買付数(千株)	買付額(万円)	買付単価(円)	買付総額(億円)	買付単価(円)
全	52,125	4	2	1349.13.97	25.0%
上	10,250	4	0	1990.65.74.98.2010.22	0.5%
第	10,250	7	2		10.0%
第	27,250	5	1		20.5%
第	12,450	4	2		10.4%
第	4,750	3	0	1994.50.02	4.5%
第	7,250	4	2		7.2%
第	0,750	5	1		0.0%
第	14,750	5	1		14.7%
第	9,150	4	2	1970.10.18	9.1%
第	10,450	5	1	東京証券取引所(1919) 上場銘柄平均騰落率	0.0%
合計	54	26			

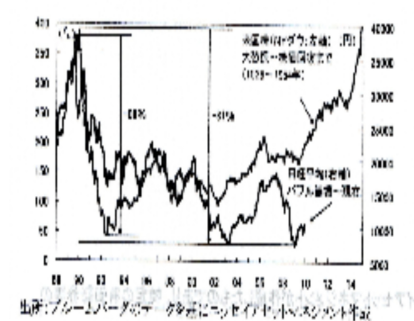
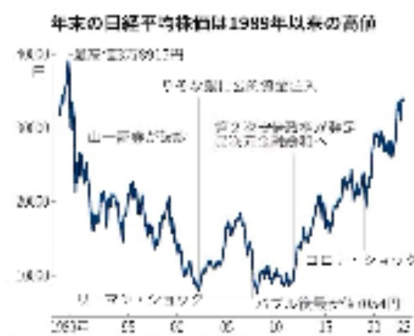
上場銘柄平均騰落率グラフ(1949年以降)



データ出所：平野技術士事務所代表 平野滋※過去のデータであって将来を保証するものではありません。

辰巳で売れば蔵が建つ 恐慌待つ干支ジンクス

1929年に酷似・危うい米国



米国	日本
1929年~ 大恐慌/デフレスパイラル	1949年~ デフレ不況(ドッジ・デフレ)
1975年 株式売買手数料完全自由化	1999年 株式売買手数料完全自由化
1978年 401Kプラン法成立	2001年 401Kプラン開始
1980年代半ば ~M&Aブーム(LBO)	2008年 M&Aと株主還元活発化

出所：各種報道・ブルームバーグのデータ等
チャート：アセットマネジメント作成

再び大衆迎合主義ポピュリズム「米国第一主義」のトランプを選択の大統領選、その束の間、インフレ沈静化したと判断したFRBは、0.25%利下げを実施。「歴史」を振り返ることもなく「数値」指標を主体に意思決定する米国の選択は時代の終焉とみます。筆者は、『知的資産経営の時代』(銀座個人書店刊・絶版)で「世界恐慌の背景と本質についてを記し世に問いました」。またまた、懲りない面々たちが操っています。それは、世界恐慌を教訓に1933年に法制化された「銀行と証券の分離」いわゆる「グラス・スティーガル法」でした。デフレ不況に陥った米国は、脱却後「黄金の60年代を謳歌」1971年8月、米国は、ドルと金との交換を停止、

以来、不兌換紙幣の基軸通貨のドルを通貨供給量によって増刷あるいは金利高で市場からの回収で調整をしています。1999年、同法を廃案、廃止。しかるにまたもや2008年、リーマン・ブラザー投資会社が経営破たん(リーマン・ショック)で「銀行と証券の分離」撤退のうち銀行・証券の自己勘定取引だけを制限、今日に至っています。我が国は、日銀植田総裁が、7月、「イーजीマネー構造時代の終わり」を宣言の英断を下しました。

バブル経済崩壊後のデフレからの脱却を目的としてこれまでの日銀の金融政策は、異次元とも言われた超低金利のゼロ金利など金融緩和を断行してきましたが結果として「失われた30年」となりました。日米金利差を為替取引で誘導、一面、米国経済を支えるイーजीマネーの構造でした。今後は、日銀植田総裁の下、我が国が主体となつて至る金融構造を是正、デフレ脱却、2%の経済成長を目指す、物価高を賃金高で吸収の適度なインフレへの好循環を狙い「米国のポチ」属国ではない独自性を発揮することでしょう。

昨今の米国の動向は、世界の夜警国家、民主主義国家とは言えない範とすべき点は少なく大国の残像が大きい。実像よりも虚像をみていると言えます。デジタル化、ネット化で一体化した世界情報のプラットフォーム寡占状態の世界は、あの100年ほど前の世界恐慌の前夜と酷似してみえます。「辰巳」のジンクスですね。



お伊勢さんの歳時記

令和6年・紀元2684年甲辰
11月 霜月

23〜29日 新嘗祭 (にいなめさい)

豊受大神宮 (外宮) 大御饗 23日 午前4時
奉幣 23日 午前7時
皇大神宮 (内宮) 大御饗 23日 午前11時
奉幣 23日 午後2時
宮中の神嘉殿において、天皇陛下御親ら新嘗祭を執り行われられるのに際し、神宮へ勅使を御差遣になり幣帛が奉られます。神宮では天照大御神をはじめとする神々に神饌をお供えする大御饗の儀が行われ、続いて勅使が天皇陛下の幣帛を奉る奉幣の儀が行われます。新嘗祭は両正宮に引き続き29日まで、すべての宮社で執り行われます。

30日 大祓 午後3時

12月の月次祭に先立ち、大宮司以下の神職・楽師を祓い清める儀式です。

12月

1日 御酒殿祭 午前10時

内宮神楽殿の東側に隣接する御酒殿において、12月の月次祭の由貴大御饗にお供えする御料酒 (白酒・黒酒・醴酒・清酒) がうるわしく醸成できるよう祈願し、あわせて全国酒造業の繁栄をお祈りします。

15日 興玉神祭

月次祭の奉仕にあたり、御卜に先立ち内宮御垣内西北

隅に鎮座する地主の神、興玉神をお祀りします。

15日 御卜 (みうら) 午後4時 皇大神宮

月次祭奉仕の神職が、奉仕直前に神の御心になうかどうかをおうかがいする行事です。

15〜25日 月次祭 (つきなみさい)

豊受大神宮 由貴夕大御饗 15日 午後10時
由貴朝大御饗 16日 午前2時
奉幣 16日 正午
皇大神宮 由貴夕大御饗 16日 午後10時
由貴朝大御饗 17日 午前2時
奉幣 17日 正午
12月の月次祭は、10月の神嘗祭・6月の月次祭と共に「三節祭」と呼ばれる神宮の最も由緒深い祭典です。浄壇の中、午後10時と午前2時の二度にわたって由貴大御饗の儀が、明るく正午には奉幣の儀が行われ、皇室の弥栄、五穀の豊穰、国家の隆昌、並びに国民の平安を祈願します。

祭典は、両正宮に引き続き12月25日まで、別宮をはじめ摂社、末社、所管社に至るすべてのお社において行われます。

31日 大祓 午後3時

新年を迎えるにあたり、大宮司以下の神職・楽師を祓い清める儀式です。また同日神宮司庁等すべての神宮の職員を祓い清めます。

一般参拝 午前5時〜午後5時

御祈禱 両宮とも午前8時〜午後4時

(奉仕8:30〜)

祭典は、参拝時間内では奉拝できます。

日別朝夕大御饗祭 外宮御饗殿毎朝夕

神馬牽参 1日(日)、11日(水)、21日(土)

両宮(正宮) 午前8時過ぎ

話の泉

2034年10月 おかげ年御開帳

伊勢神宮と深く関わる金剛證寺の秘仏・虚空蔵菩薩、20年に1度のご開帳が2034年、10年後、伊勢神宮と深く関わる歴史を有する金剛證寺(こんごうじょうじ・伊勢市朝熊町)の秘仏・本尊「福威智満虚空蔵大菩薩(ふく

※「3密」回避には変わりはありません。参拝にあたっては神宮HPでご確認ください。

話題

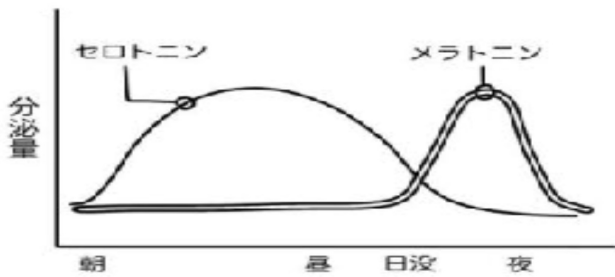
伊勢神宮ご神宝、 なぜトキの羽根?

【石川穴水】伊勢神宮のご神宝「須賀利御太刀(すけりのおんたち)」に、なぜトキの羽根が飾られているのか。石川県輪島漆芸美術館名誉館長で歴史学博士の四柳嘉章さん(75)は、同県穴水町川島は、平安時代に身分の高い人が用いた朱色の漆器同様、似た色の羽を持つトキが高貴な存在として扱われていたことが関連するという新説を提唱した。八日に同町内浦の「のとふれあい文化センター」で開かれた本州最後のトキ「能里(のり)」を思うシンポジウムで明かした。(中日新聞電子版2022年1月16日13時26分更新・森本尚平)...

オレンジの輪

編集発行
認知症キャラバン・
メイト南勢地区連絡
会事務局 中川義郎
516-0036
伊勢市岡本2-13-7
yok809@nango.ne.jp

秋バテに注意 しましょう



【霞が関】厚生労働省では、今年の記録的な猛暑での熱中症続出し、秋になってもだるい、疲れやすい、食欲不振、胃腸の不調、立ち眩み、めまい、肩こり、頭痛などの症状に見舞われている

方が多くなっており「秋バテに注意しましょう」とHPなどで呼びかけています。

その原因は、自律神経の乱れです。私たちの体には、交感神経と副交感神経の2つがあり季節の変わり目の気温差(今年は10度ほどと少ない)や気圧の変化に体が対応しきれず、自律神経が乱れがちになります。そこに夏の疲れが蓄積すると体温調節や血液循環・代謝機能にも影響し、全身に様々な症状が現れて来るのです。

「秋バテ」の主な原因は、この自律神経のバランスの崩れですが、内臓の冷え、夏の間に冷たいものを摂りすぎると、「内臓冷え」が起きます。内臓を冷やしていると、秋になっても下痢、便秘、食欲不振など消化器症状がやすくなります。さらに、リモートワ

毎週日曜日18時から30分
間開催の「S&G」勉強会
は、財産形成、身上監護を
主体に様々な領域に及び好

評です。リモート形式でL
INE利用、入退室は自由、
関心がお有のテーマ、話題
だけでも結構です。お気軽
に傾聴ください。

トリプトファン



①基礎代謝量の問題、②
クで長時間同じ姿勢で過
ぐすと全身の血液の流れ
が悪くなり、免疫力も下
がり風邪を引きやすくな
ります。

日照時間の短さで睡眠の
質、食欲ホルモンが食事
リズムを狂わします、③
睡眠リズムを狂わす秋の
夜長の落とし穴、ホルモ
ンリズムを整えて、食欲
の秋を快適に過ごしまし
よう。④朝はしっかりと太
陽の光を浴びましょう、
⑤ウォーキングやジョギ
ングなどのリズム運動を
しましょう、⑥40度ぐら
いのぬるめのお湯でリラッ
クスすることで自律神経
の乱れを整えるとともに、
血液の循環も良くなり入
浴から睡眠時間の確保を
しましょう、⑦食事の際
には、温かい味噌汁やスー
プなどを摂り、セロトニ
ン効果の食品・トリプト
ファンを意識して食べ免
疫力を高めましょう、⑧
ゆっくり、しっかりと嚙
んで満腹に基礎代謝量を
確保しましょう。

話題 我が人生の 礎は読売新聞

11月2日、読売新聞は
創刊150周年を迎えま
した。その読売新聞が創
設した読売育英奨学生制
度が「60周年」となり11
月23日(土・勤労感謝の
祝日)には、東京日本橋
で記念総会(9月15日大
阪天満橋会場)が開催さ
れます。

小職は、その三期生、
学園紛争の最中、「不屈・

自立・自学」を貫いた夢
駈な心身に今日がありま
す。

思えば、家業「写真館」
を継がなかったことで自
立・自学を選択、10年余
「新聞少年」でした。

当時は、団塊の世代の
同世代間競争で大学入試
とともに、いや、それ以
上に狭き門「奨学生」選
抜でした(爆笑)。

今、「社振環ISEお
いない3」事業活動を通
して微力ながら地域社会
の活性化に取り組んでい
ます?(笑)。



生活防衛色強まる秋

主食のお米とともに野
菜の高いにはびつくり
ですね。キャベツ450
円、ブロッコリー350
円、大根250円、それ
にバス、電車などの運賃

が一部で12月から改定
値上げとなります。物価
と賃金の値上がりの好循環
で適度なインフレへが
現実となるのでしょうか。
賃金・年金以上に諸
物価の値上がりは生活防
衛色を強めますね。

研究員だより

編集発行人

東村 篤 (JSPS日本学術振興会)
四日市大学研究機構環境技術研究所研究員
(一社) 事業と相続の駆け込み寺プロフェ
ショナルチームメンバー
(一社) 国際CCO交流研究所理事主任研究員
(一社) 全国元気まち研究会研究員
日本広報学会/四日市大学学会

先憂後楽

★都バスの到着を待っていますと「電光案内表示盤」から「まもなく01系統新橋駅前行きが到着いたします。しばらくお待ちください」とコンピュ
タ音声が続きます。★おやつ、まもなくは、バス到着までの「間」も「無」なくで時間を指
していると感じます。しばらくは、「アナウンスされた時刻からバス到着までの待ち時間」と理解します。★「しばらく」は、すぐではなく、一時とか、ほんの少しの間と辞典には表記されています。決して「しばらく到着します」とは言わない。「まもなく」としばらくとは時間・基点感覚が大きく異なります。◆一つの単語・キーワードにも幾通りも表現の仕方があって日本語の難しさでもあります。例えば、「風」微風もあれば台風もあり、実に2、145通りの語表現が存在するのです。「雨」も同様に実に1、190語の表現があります。★大陸から分離した島国ニッポンは、縄文時代の古代の日本人の暮らしは自然との戦い「リスクとの隣合わせ」だったのです。漢字が中国から伝わるまでの我が国の言葉は「風と雨」に象徴と言っても過言ではありません。★時候の起こし言葉や季節の変化、自然現象に対する日本人の立つた「感受性」は、世界の中でも特異性を有しています。この特異な「自然と人間との共生」の基底の精神文化は、鎖国下の江戸時代において庶民にまで成熟、世界でも「識字力」の高さが寺子屋での教育、社寺や祭りなどを通じて醸成、開花したのです。★アナログでしか存在しない江戸時代において芝居や落語、文楽、狂言などを通して普及、啓発して行つたのでしょう。★年・トシは、稲作の周期で「稔・収穫」1年の循環を稲作の始めと終わりに結びつけ、年・トシの初めに田の神を迎えて種を蒔き、山・田・馬・牛・土地の神が収穫をもたらしてくれた田の神を送つて年・トシ・1年が終わります。★「遠野物語」で名高い伝承文化(岩手県遠野市)を語り部の皆さんが今もなお伝えてくれています。我が国の文化の原風景が、まだまだ地方には埋もれています。それは宝石箱・地域価値創造の資源です。年・トシは、太陽と月など自然と大地の恵み、神から生命の糧「稲」エネルギーの源「氣」が与えられる1年の総りそのものです。太陽太陰暦カレンダーを発行する国立歴史民俗博物館、「神宮暦」の神宮司庁は、その自然との共生の証・指標と言えます。★「間」、「年・トシ」を取る数え年の考え方も同様ですね。「奥の世なみは近年の出来」。

検証

伊勢神宮初詣で数と日経平均株価の関係性は相関

「初詣で」多ければ株価は高い傾向

「遷宮と経済」の関係性を研究して50余年、式年遷宮に限らず、伊勢神宮への初詣で客数(3が日・元旦は晦日・年越し参り含む)と日経平均株価との関係は正の相関が見られます。

表は、前回の第62回式年遷宮の平成25(2013)年から例に挙げ表記したものです。3が日間の初詣で客数と各年の大納会日経平均株価の終値を比較しますと初詣で客数が前年比プラスであれば対象12年間のうち平成27(2015)年(おかげ年の反動と考えられます)と令和3(2021)年、令和4(2022)年(新型コロナウイルス感染症拡大による行動制約の想定外)の3回が逆相関、日経平均株価とは、総じて関係性が高いと言えます。

伊勢神宮年間参拝客数は、大正4(1915)年の136万5、522人を100として20年移動平均で見ますと令和5(2023)年は、768万9、011人、第一次、第二次世界大戦、コロナ禍など一時期を除き移動平均線は上昇傾向にあります。

これを遷宮別に幕末以降の経済(景気の谷・山)との関係性で見ますと慶応元(1865)年「谷」、明治(1905)年「山」、昭和20(1945)年「谷」、昭和60(1985)年、「山」でした。我が国は「40年周期」と言え令和7(2025)年は「谷」と言えることが想定・推測されます。いずれも遷宮での遷座は「西から東へ」に発出しており「気候変動の謎」解明の宮原ひろ子博士が発見の「太陽線活動の22年周期」と遷宮持続4(690)年第1回遷宮「西から東へ」遷座(戦国時代123年間中断、戦後4年延期で太陽線活動周期と符合)・経済の40年周期との符合は摩訶不思議なのです。

第62回式年遷宮後の伊勢さん越し・初詣で数と日経平均株価との関係性									
和暦	西暦	主なイベント	1月1日	1月2日	1月3日	3が日計	前年比増減	日経平均株価当年終値	判定
平成25年	2013年	發巳 遷宮	292,140	176,430	143,198	611,768	#REF!	16,291.31	△ O
平成26年	2014年	甲午 おかげ年	309,398	187,031	187,251	683,680	1.118	17,450.77	△ O
平成27年	2015年	乙未	240,036	105,082	122,015	467,133	0.683	19,033.71	x
平成28年	2016年	丙申 伊勢志摩サミット	214,562	146,965	122,495	484,022	1.036	19,114.37	△ O
平成29年	2018年	丁酉 お伊勢さん菓子博	211,244	148,222	130,972	490,438	1.013	22,764.94	△ O
平成30年	2018年	戌戌	222,568	142,355	116,828	481,751	0.982	20,014.77	△ O
平成31年	2019年	己亥 改元・大嘗祭・親臨の儀	231,940	145,674	135,498	513,112	1.065	23,656.62	△ O
令和2年	2020年	庚子 新型コロナウイルス	255,007	153,185	152,128	560,320	1.092	27,444.17	△ O
令和3年	2021年	辛丑 新型コロナウイルス	65,535	59,076	45,914	170,525	0.304	28,791.71	想定外 x
令和4年	2022年	壬寅 新型コロナウイルス、ロシアがウクライナに侵攻	133,760	106,630	91,859	332,249	1.948	26,094.50	x
令和5年	2023年	癸卯 新型コロナ分類「5」変更	173,652	108,345	93,382	375,379	1.130	33,464.17	△ O
令和6年	2024年	甲辰 能登半島大地震、JAL機と海上保安庁機衝突	183,129	116,795	77,087	377,011	1.004	38,642.91	△ O
合計			1,082,462	715,265	635,609	2,433,336			

データ出所: JPA東京証券取引所HP、伊勢市観光統計・出典資料提供「神宮司庁」注: 1月1日は、大晦日20:00以降 2024年は、11月14日終値現在。 作成: 筆者